

コミュニケーション学科一考

—学生確保と大学の学部名・学科名について—

宮川 祐一

仁愛大学人間学部

A Consideration of a University's Department of Communication Influence of the University's Faculty/Department Naming on its Student Acquisition

Yuuichi MIYAGAWA

Faculty of Human Studies, Jin-ai University

現在、「コミュニケーション学科」は6つの大学に設置されている。本学の開設時には14の大学に同名の学科が存在していたが、定員確保の困難に伴って改組や改称に至った大学も多く、今後についても継続には難しさが予想される。一方、大学情報の積極的な公表が求められてきており、教育情報の公表に係る「学校教育法施行規則」の一部改正によりその項目が定められ、2011年度から施行となった。このことによって、他大学の教育情報も収集し易くなってきた。この資料は、このような公開情報を基に本学コミュニケーション学科の置かれている状況について、他大学と比較することによって、将来への見通し等に関した有益な知見を模索するという目的を持っている。なお、ここでは多様化している学部や学科の名称に焦点を絞っており、コミュニケーションの定義・意味付け等について論じるものではないことを添えておく。

キーワード：教育情報の公表 進学情報サイト インターネット検索 点検評価 大学設置

1. はじめに

文部科学省の学校基本調査報告書¹⁾によると、2013年時点での大学数は782(国立86, 公立90, 私立606)となっており、学生数は2,868,928人(国立614,785, 公立146,159, 私立2,107,984)である。1993年には、大学数は534(国立98, 公立46, 私立390)となっており、学生数は2,389,648人(国立561,822, 公立74,182, 私立1,753,644)であった。20年間に於いて、大学数は248増(国立12減, 公立44増, 私立216増)、学生数については479,280人増(国立52,963増, 公立71,977増, 私立354,340増)である。国立大学の減数は統廃合によるものであるため除外し、公立・私立のみについて20年間の増減をみると、大学数が260(+49.8%)も増えているにもかかわらず、学生数は23.3%の増加でしかない。本学も増加校の一つに入るのだが、単純計算すると、一つの新設大学に割り振ら

れた学生数は1,639人(1993年時点の学生数÷大学数は4,475人)となり、大学設置基準の緩和政策によって如何に大学の数(中小規模校)が増えてきているか、学生数の確保が難しくなっているかが判る。

2. 大学入学者数

2.1 学生確保と対応策

今や大学全入時代と言われ、私立大学4年制の4割、私立短期大学では6割が定員割れである。そのため、入学者を確保するために、試験日程を複数化したり、試験会場を増やしたり、受験料の割引制度や奨学金制度など、志願者を如何に呼び込むかの知恵を捻っている。その対応策として、大学等の設置基準や設置認可制度が大幅に弾力化されてきていることもあって、学生に人気の高い学部や学科の新設や改組に迅速な対応をとる大学も少なくない。

2.2 2013年度の入学者動向

私立学校振興・共済事業団の「平成25(2013)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」調査²⁾(大学588校中576校の回答)によると、私立大学全体の入学定員充足率は105.58%(昨年度比1.39ポイントの上昇)、入学定員充足率が100%未満の大学は32校減少して232校となり、大学全体に占める未充足校の割合は5.5ポイント下降して、40.3%となった。

その理由としては、18歳人口が約4万人増加し、志願者も増加、入学者が約1万人の増加となったとしている。一方で、2014年度は18歳人口が5万人減少することによって、厳しい状況が見込まれるという。

ところで、1校当たり入学定員規模での集計によると入学定員が800人未満の中小規模の大学は定員割れの状況であるが、800人以上の規模では100%を超えている(図1)。

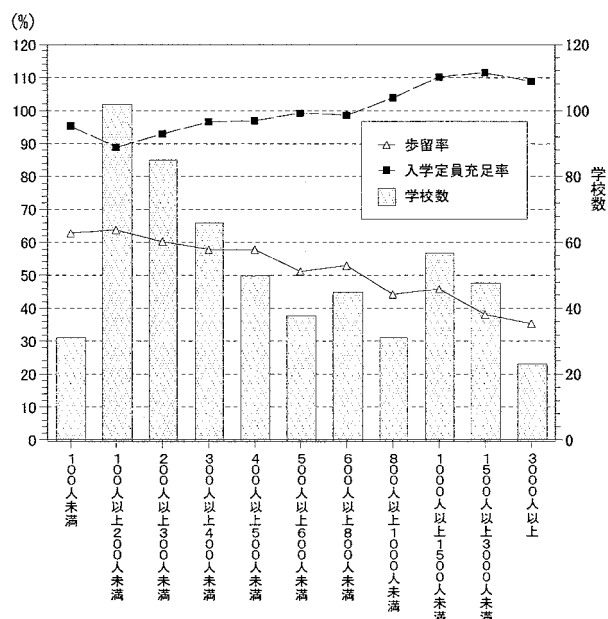


図1. 私立大学の規模別入学定員充足率 (2013年)
(入学定員充足率=入学者÷入学定員 歩留率=入学者÷合格者)

また、過去5年間の推移をみると北陸3県(11校23学部)は、定員充足率・志願倍率ともに上昇傾向が窺える。なお、本年度の定員充足率は21地域の中でトップの111.13%とされている。

このような状況の下、来年度(2014年度)に向けても、18歳人口が減少するというなか、4月時点での認可申請分(収容定員の変更)で1,600人余、10月時点での開設認可答申分(新設)で1,700人余の入学定員

の増加が見込まれており、定員確保競争の激化が予測される。

3. 学部名・学科名

3.1 学部名称・学科名称の多様化と認知

大学の数の増加とともに、新しい学部名や学科名が増えてきた。名前を聞いただけでは「何が学べるのかわからない」ような名称が付けられている例も少なくない。また、同じ学部名・学科名であるにも関わらず、大学によって異なる。就職活動(採用活動)の場合において、企業の採用担当者は「名前を聞いてピンとこない学部の学生は採り難い」という。このような言葉は、本学の学生募集担当者からも聞かれ、「コミュニケーション学科」の説明が大変だと。つまり、第一段階である名前の理解に至るまでに不要な労力を求められてしまう。高校の進路指導部や進学塾担当者向けはさておき、受験生および保護者への名称浸透(内容理解)には毎年の苦労が絶えないことになる。その学部や学科では、何を学べるのかという事が外からはっきりと見える(説明がなくても判る)ようにすることが大切であり、一時のブームに乗ったような名称は禁物であると考えられる。すなわち、「名は体を表す」ということは、たいへん重要なことである。

一方では、大学評価・学位授与機構の2006年度調査³⁾によると、学位に付記する専攻分野の名称として、600種類を超える専攻分野の名称が学士の学位の授与の際に付記されているという。しかも、「約380種類、6割を超えるものが、特定の一大学でしか付記されていない」という。さらに、2010年度の調査ではその数が約700種類へと増加し、その特徴的なキーワードとして、文化、国際、環境、人間、デザイン、コミュニケーション、経営、地域、政策、情報、医療、福祉、健康、スポーツ等が挙げられる。この14のキーワードを含む専攻分野の名称だけでも700種類のうちの約半数に及びこれらを複数組み合わせた名称も約1割程度に達するという^{4), 註1)}。また、学問分野によって名称の多様化には差があり、人文科学・家政学関係で進行していて、新設の大学ほどユニークな名称を使用しているということ等を指摘している^{5), 6)}。

3.2 仁愛大学について

2001年(平成13年)4月に本学が開学し、人間学部

に心理学科とコミュニケーション学科の2学科が開設された。学科を括る学部として、「人間の心の在り方や人間相互の繋がり等を学術的に探求し解明していく」ことは、母体である学校法人福井仁愛学園の学是に適うものであるとの認識から「人間学部」を開設した。また、学科構成に関しては、「設置の趣旨・必要性」として、「コミュニケーション学科においては、人間関係・コミュニケーションに関する知識と社会・文化的知識の上に、言語および情報メディアを駆使した高度なコミュニケーション能力を有し、情報化・国際化時代において地域社会・産業社会の発展に必要な人材養成をめざす。」と記されている。なお、2009年には、人間生活学部健康栄養学科と子ども教育学科を開設している。

3.3 人間学部

現在、「人間学部」という名称の学部は13の大学に設置されているが、包含する学科の構成は各校さまざまであるが「人間」に絡んだ学科であることから逸脱していないようである。すなわち、10校までが「人間〇〇学科」を持っていることから間違いない。

学科名をキーワードで分類してみると、「心理」、または「児童、子ども、教育」の学科数は8、「福祉」の学科数は4、「健康」の学科数が3と続く(表1)。

別の見方をすれば、「人間学」を教育研究する、哲学的人間学との理解が妥当であろうことが、設置校に宗教関係の設立母体や沿革を持つ場合が多いことから言える。さらに、「人間」の前に「総合、現代、環境、国際」を加えた学部名を持つ大学は8校ある。一方、類似している「人間科学部」を設置する大学は36校もあって、人間学部よりも歴史的にも長く(最初の人間科学部は1972年に開設)、こちらは「人間科学」と捉えて、人間自身を(科学的に)教育研究の対象にするとして取れる。

一方、「人間」というキーワードの学部を持つ大学の数は117校にも及び、これは大学の総数782校の15%であり、「人間」の名が付く大学も3校ある。紙面の都合上、すべての大学・学部の名称は掲載できないが、「人間」と名のつく大学・学部は、多種多様な学問を、つまり学際的であるがために、学部名のみでは、容易には「中身を掴めない」とも言える。

表1.各大学における人間学部の学科構成(学部開設年順)
学科構成については各大学のホームページ掲載情報に因った

大 学 名	開設年	学 科 名
天理大学	1992	宗教学科
		人間関係学科
		3専攻(臨床福祉,生涯教育,社会福祉)
大正大学	1993	人間科学科
		教育人間学科
		社会福祉学科
		人間環境学科
		臨床心理学科
仙台白百合女子大学	1996	グローバル・スタディーズ学科
		心理福祉学科
		人間発達学科
		健康栄養学科
文京学院大学	1997	コミュニケーション社会学科
		児童発達学科
		人間福祉学科
		心理学科
仁愛大学	2001	心理学科
		コミュニケーション学科
聖泉大学	2003	人間心理学科 3専攻(臨床・発達心理,健康運動心理,キャリア創造)
清泉女学院大学	2003	心理コミュニケーション学科
太成学院大学	2003	子ども発達学科
		健康スポーツ学科
		人間心理応用学科
名城大学	2003	人間学科
埼玉学園大学	2005	人間文化学科
		子ども発達学科
愛知東邦大学	2007	人間健康学科
		子ども発達学科
目白大学	2007	心理カウンセリング学科
		人間福祉学科
		子ども学科
		児童教育学科
石巻専修大学	2013	人間文化学科
		人間教育学科

ところで、本学を顧みると、「人間」と付く学部が2つもあり、4つの学科を他大学の学部学科構成と比較すると1つに纏めても何ら違和感は生じないと言える。

4. コミュニケーションという用語

4.1 コミュニケーションとは

広辞苑⁷⁾によれば、コミュニケーションとは、『①社会生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達。言語・文字その他の視覚・聴覚に訴える各種のものを媒介とする。「マス・ー」「会社のーが悪い」とある(②は省略)。一方、大辞泉⁸⁾によれば『①社会生活を営む人間が互いに意志や感情、思考を伝達しあうこと。言語・文字・身振りなどを媒介として行われる。「ーをもつ」「ーの欠如」。さらに、補説として、「コミュニケーション」は、情報の伝達、連絡、通信の意だけではなく、意志の疎通、心の通じ合いという意でも使われる。』とある(②は省略)。

しかし、これらの解説が明解とは言えない点にも曖昧性という欠点となっており、例えば「説明し難い」という学生募集の困難さになって現れてきているのではないと思われる。

4.2 コミュニケーション学

コミュニケーション学とは何ぞやと題しても一言では言い表せない。コミュニケーションの対象(視点)として、人や組織や異文化のように分類したり、コミュニケーションの方法としての技術(能力・ノウハウ・スキル)に関するもの、コミュニケーションそのもの・心(心理学に含まれる領域)や言語、非言語、あるいはマスコミ研究(メディア)であったりと複雑多岐である。

4.3 コミュニケーション能力

社会人に求められる能力として時折話題になるが、この「コミュニケーション能力」とは何を指しているのか、これまた曖昧という一言に通じる。ある人は、「ほうれんそう：報(告)連(絡)相(談)」のことであると言う。まさに的を射た言い換えである。

例年、日本経済団体連合会が行っている新卒採用に関するアンケート⁹⁾では、選考にあたって特に重視した点を24項目の中から5つを選択させると、コミュニケーション能力、主体性、チャレンジ精神と続き、この能力が毎年連続して1位だとされているが、具体的にどのような能力を指しているのか明確ではない。

一方、ウィキペディア¹⁰⁾では「企業が求人広告等で応募者に要求している「コミュニケーション能力」は、ビジネスシーンにおいて発揮が期待される精選された「折衝能力」「交渉能力」「説得能力」を指しており、必ずしも対人コミュニケーション一般を円滑におこなうスキルをもって満足するものではない」と指摘している。なるほど、転職者を対象とするならばいざ知らず、新卒者に上述3つのような能力を求めることは酷であり、採用担当者はそれらの能力の片鱗を見出しているのかも知れない。

また、コミュニケーション能力の中でも、「きく」能力が重要であるという指摘もある^{6), 11), 12)}。人が1日のうちで最も長い時間を費やしているのは「きく」活動であるが、教育の中での認識は低いという。

このような諸説の中、コミュニケーション学科に入學してコミュニケーション学を学び、どのような(他では得られない、価値ある)コミュニケーション能力が付くのかを分かり易く、明確に示す必要があろう。

4.4 コミュニケーション検定

コミュニケーション能力を測定し評価する「コミュニケーション検定」がさまざまな団体で実施されている。たとえば、日本コミュニケーション能力認定協会¹³⁾では「コミュニケーション能力の基本を、『聴く力』『質問する力』『説明する力』『協調性』の4つの要素として明確にして、コミュニケーションをより解りやすいものになっています。」という。さらには、ケアコミュニケーション検定、ビジネスコミュニケーション検定、デジタルコミュニケーション検定、テクニカルコミュニケーション検定等も存在し、広範な分野領域が絡んでくることから、コミュニケーションという用語の特質を表している。

ところで、次に採り上げるコミュニケーション学科を持つ大学では「コミュニケーション検定」に全く触れておらず、世間一般との乖離が存在するとも言える。

5. コミュニケーション学科

5.1 コミュニケーション学科の開設とその後

日本で初めてのコミュニケーション学科は1983年に常盤大学に開設された(これより先に、成城大学には「マスコミュニケーション学科」が1976年に開設されている)。その後は、16校に開設されていたが、改組や廃止、名称変更などの変遷があって2013年度現在は6校に減少してしまった。幸いなことに、10年前と5年前に当たる2003年(別表1)、2008年に他大学におけるコミュニケーション学科の開設状況を調査したデータが手元に残っているので、比較していくこととする。

5.2 「コミュニケーション」を含む学科

コミュニケーション学科という名称の他に、多数の〇〇コミュニケーション学科やコミュニケーション〇〇学科といった名称の学科が多数開設されている。2013年10月現在の一覧を別表3に示した。コミュニケーションというキーワードを含む学科の数は85であるが、来年度新たに開設されるものが1つある。これらの学科の所属としては人文系の学部が主であるが、理工系学部や保健福祉系学部にも存在しており、さらに、工科(工業)大学・商科大学・経済大学にも開設されていて、まさに学際的である。しかし、募集停止となっている大学が9校もあり、コミュニケーションを含む学科名称は減少していくことが確実と

なっている。

別の考え方をすると、つまり複数のキーワードを含む学科名称については主従関係を読み解く必要がある。例えば、英語コミュニケーション学科は、①英語が主②コミュニケーションが従と考えることが順当で、主体は英語学科であり、これにコミュニケーションの要素を含めたものとして学科内容を受け取るとすれば、単なるコミュニケーション学科というものの危うさ（内容が掴めない）が見えてくる。数校あるところのコミュニケーション○○学科については、コミュニケーションというキーワードを除いて考えれば、その学科内容を示すものになってしまう。コミュニケーションというキーワードが不要なくらいである。現に、「コミュニケーション」というキーワードを外して改組改称する大学もある。「コミュニケーション」を補助語と考えた場合、現行の6校のコミュニケーション学科は何に置き換えることができるのか、あるいは、できないのかについて熟慮していくと将来への展望が見えてくるような気もする。

5.3 「コミュニケーション」を含む学科数の変化

「コミュニケーション」をキーワードとして含む学科数の変化を2003年、2008年、2013年について、図2に示す。2003年においては、「コミュニケーション学科」および「国際コミュニケーション学科」が多数であったものの、2008年には、「国際コミュニケーション」「英語コミュニケーション」が主流派となっ

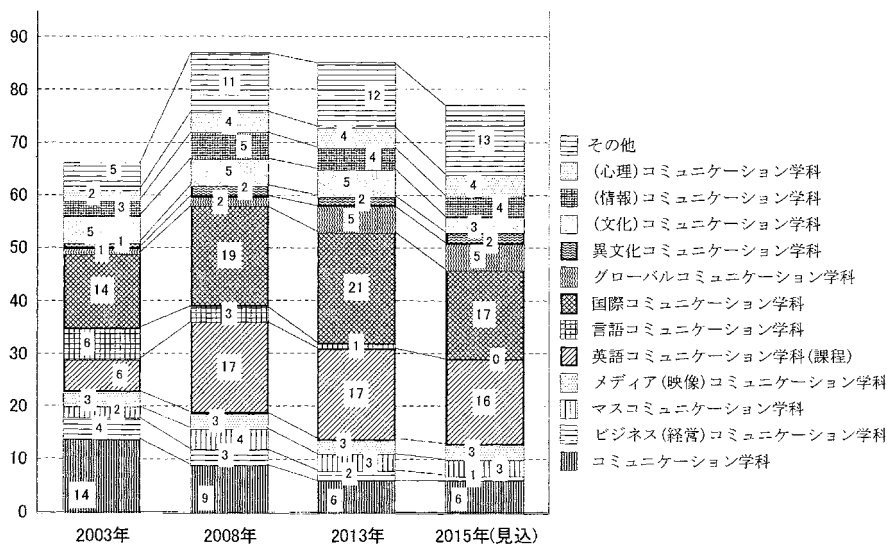


図2 「コミュニケーション」を含む学科数の変化

(心理、情報、文化については、コミュニケーションの前後に付く学科を合わせた。映像、経営については、メディアとビジネスに含めた)

て、現在に至る。つまり、数の上では国際コミュニケーションと英語コミュニケーションで4割以上を占めていて、類似キーワードとして「グローバル」も5校に開設されており、この3者を合わせると全体の5割である。大雑把な言い方をすれば（「数は力なり」という言葉に従うと）、コミュニケーションに関わる学科と言え、国際・英語・グローバルが一般通用すると考えてもよからう。

5.4 各大学の「コミュニケーション学科」

「コミュニケーション学科」を開設した大学について一覧表にした（別表2、図3）。開設後もずっと存続している大学がある一方、改組や改称が行われて、短期間で名称が消えた大学もある。なお、1991

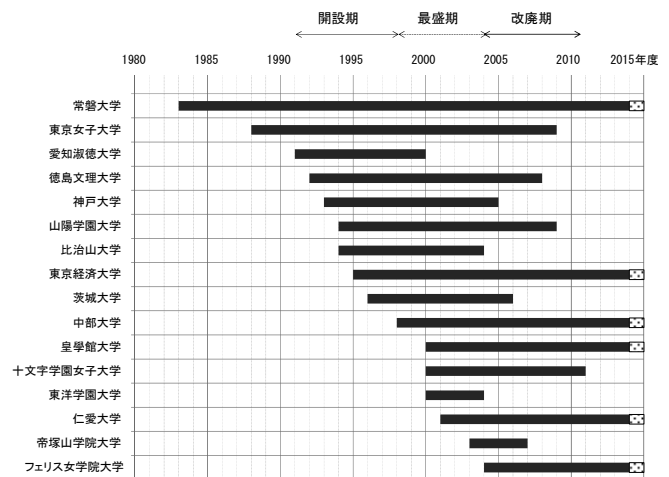


図3 「コミュニケーション学科」の盛衰

年～1998年を開設期（この期間では、8校増加）、2004年～2011年を改廃期（この期間では、9校減少）としたが、2013年現在、コミュニケーション学科が存続中である6校については、来年度（2014）に向けた学生募集が行われている（すなわち、2014年度も存続）が、この間に定員確保が難しくなったことによって定員削減を行った大学もある。また、改廃の理由については、明確に掴めたものは少ないが、その後の学

科名などについては得られた情報を表中に記した。

図3で示したように、開設校の数が減っているという事実を注視しなければならない。定員が満たされない、として改組や名称変更をしているのかどうかは重要な関心事である。坂口¹⁴⁾は「どこかの大学が初めて使い始めた名称・・・追随者が出たのは、社会に受け入れられやすい(つまり理解しやすい)名称だったからでしょう。」と指摘しているが、逆に減ってきたということは「理解し難い名称」だから改組改称に至っていると解釈すべきだろう(「ユニークな名前から回帰する動き¹⁴⁾」)とも記している)。

また、入学定員充足率については、図4に示したが、

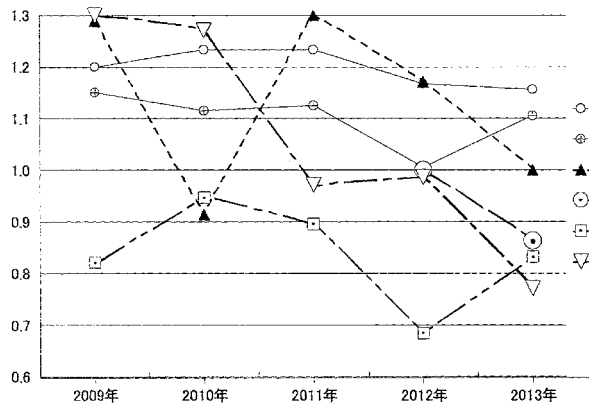


図4 コミュニケーション学科の入学定員充足率推移
(6校のうち1校については2年分のデータしか得られなかった)

例年定員を満たしているのは2校しかなく、最近の5年間についてみると、定員充足率は低下傾向にあることが見て取れる。特に、充足率が大きく変動している2校の定員対策に注目(参照)したい。また、本年度に限って上昇に転じた2校についても、前述(2.2)で指摘されているように、要因を人口増および他大学の入学定員増によるものと捉え、2014年度には再び低下することが濃厚となろう。早急な対応策が必要であると思われる。また、残念なことに、獲得できる「コミュニケーション能力」については、「豊かな、高度な、社会(現場)で必要とされている等」の抽象的なものが多く、具体的に記しているのは皇學館大学のみである。

5.5 コミュニケーション学科を取り巻く立地環境と定員

現行の6校について、立地条件(所在地人口、隣接人口)、競合校、通学環境、大学の規模や学科数、定

員充足率などに関して表2および別表5に示す。常盤大学以外は、各所在地(市区)に唯一の大学となっている。(水戸市には茨城大学があって、常盤大学とは重なる学科が多い。このため、人文コミュニケーション学科を持つ茨城大学を敢えて掲載した。)

表2 コミュニケーション学科の各大学内における立ち位置

大学	学 部 名	学 科 名	入学定員
常盤大学	人間科学部	心理学科	90
		教育学科	40
		現代社会学科	80
		コミュニケーション学科 ※	80
		健康栄養学科	80
	国際学部	経営学科	70
		英米語学科	60
	コミュニティ振興学部	コミュニティ文化学科	60
		地域政策学科	60
		ヒューマンサービス学科	80
	合 計		700
水戸 茨城大学	人文学部	人文コミュニケーション学科	170
		社会学科	225
	教育学部	学校教育教員養成課程	215
		養護教諭養成課程	35
		情報文化課程	60
	理学部	人間環境教育課程	40
		理学科	205
	合 計		950
東京経済大学	経済学部	経済学科	455
	経営学部	国際経済学科	485
		経営学科	485
	コミュニケーション学部	流通マーケティング学科	200
		コミュニケーション学科 ※	250
	現代法学部	現代法学科	250
	合 計		1390
中部大学	工学部	機械工学科	160
		電気システム工学科	80
		電子情報工学科	80
		都市建設工学科	60
		建築学科	110
		応用化学科	90
		情報工学科	120
	経営情報学部	経営情報学科	110
		経営学科	110
		経営会計学科	80
	国際関係学部	国際関係学科	50
		国際文化学科	50
		中国語中国関係学科	40
		日本語日本文化学科	80
	人文学部	英語英米文化学科	70
		コミュニケーション学科 ※	70
		心理学科	90
		歴史地理学科	90
	応用生物学部	応用生物化学科	110
		環境生物科学科	110
		食品栄養科学科	60
		食品栄養科学科専攻	60
		食品栄養科学科管理栄養科学専攻	40
		食品栄養科学科管理栄養科学専攻	40
	生命健康科学部	生命医科学科	60
		保健看護学科	100
		理学療法学科	40
		作業療法学科	40
		臨床工学科	40
		スポーツ保健医療学科	80
	現代教育学部	幼児教育学科	80
		児童教育学科	80
	合 計		2380
皇學館大学	文学部	神道学科	70
		国文学科	80
		国史学科	80
		コミュニケーション学科 ※	80
	教育学部	教育学科	210
	現代日本社会学部	現代日本社会学科	100
	合 計		620
仁愛大学	人間学部	心理学科	95
		コミュニケーション学科 ※	95
	人間生活学部	健康栄養学科	75
		子ども教育学科	45
	合 計		310
フエ エリ 学院 ス大	文学部	英文学科	90
		日本文学科	90
		コミュニケーション学科 ※	90
	国際交流学部	国際交流学科	194
	音楽学部	音楽芸術学科	45
		演奏学科	50
	合 計		559

フェリス女学院大学1校を除いた他の5校においては、大学全体の定員充足率よりもコミュニケーション学科の充足率が悪いという事実から、学生を集めるににくい(集まりにくい?)という実態は否めないであろう。高い充足率となっているフェリス女学院大学の学生確保に有利な要因としては、隣接市区を含めた人口、および15～17歳人口が他校よりも多いこと、私鉄駅と直結しているという最良な交通の便が挙げられる。さらには、大学ブランドランキング²⁰⁾では上位にあるイメージ戦略の効果も寄与しているものと考えられる。

本学については、人口規模、大学規模では最小だが、学科定員が大学全体の29%と最大規模となっている点は他大学との大きな相違であり、その定員充足率の悪化は大学全体に大きく影響を及ぼす(2番目に大きいフェリス女学院大学でも16%であり、中部大学では僅か3.1%に過ぎない)。また、通学環境において公共交通手段の利便性を補うための無料シャトルバスの存在は不可欠な条件と言える。

6. インターネットによる大学検索

6.1 受験(大学)情報を得る際の情報源

各大学においては、印刷媒体である「大学案内」を毎年作成して受験者に行き渡るように努めている。一方では、大学のホームページによる大学情報の発信も重要度を増してきている。清水・宝島¹⁵⁾によると、情報収集源としては「①大学のパンフレット②大学のホームページ③高校の担任教諭の助言」、受験校決定の決め手としては「①大学のパンフレット②高校の担任教諭の助言」の順が報告されており、インターネット広告についても新聞広告や交通広告、雑誌広告よりも上位に位置していることが示されている点にも注目すべきであろう。

6.2 進学(大学)検索サイト

受験生が大学選びをする際の情報入手方法の一つにインターネット検索が挙げられる。公的機関としては、大学入試センターのハートシステム^{註2)}が1988年に運用開始となったが、行政機関の教育データベースの重複を排除するという、いわゆる「事業仕分け」の対象となり2011年には廃止に至った。現在は、別表4に示したように民間の進学(大学検索)サイトが乱立気味と思われるような状態にあって、それらを利用した

大学検索の結果から、明らかに情報提供の公平性が損なわれていることが判る。なお、来年度には「大学ポートレート¹⁶⁾(仮称)」として、各大学別の基本情報がネット上で提供される見通しとなっている。

ところで、受験生が閲覧(受験)したい大学が判っているならば、直接大学名を用いて特定の大学のホームページを開くことができる。しかし、未確定の漠然とした状態での大学検索では、「学びたい分野」「学問領域」等からの絞り込み検索を想定した場合には、キーワードとすべき分野・領域の名称が周知されているかどうかは大きな要素であろう。つまり、学部や学科の名称は、専門・分野と結びついた「わかりやすい名称」が望ましい。なお、学問系統や学部等の分類方法については、それぞれの検索サイトによってさまざまである。2段階で絞り込むことができるサイトや、さらにはキーワード検索が可能になっているサイトもある。

6.3 検索サイトでのキーワード

進学(大学)検索サイト(別表4)において、「コミュニケーション学科」および「コミュニケーション学」をキーワード(フリーワード)として検索した結果を表3に示した(註:サイトによっては、利用者登録で検索結果が異なることも考えられる)。表3に掲載したヒット件数については、短期大学も含まれている場合も多く、さらには専攻ごとに掲載されている場合や商業主義が大きく反映されているサイト等、さまざまであるがために大きな幅(2～100校)がある。また、「コミュニケーション学」での検索結果からは、「コミュニケーションの名が付かなくても「コミュニケーション学が学べる」という売り込みを図っている(受験生を囲い込んでいる)大学が如何に多いか分かる(学科開設校数の2倍以上である)。つまり「コミュニケーション学科」である必然性は無く、言い返せば800に迫る校数の中から、如何にして「他とは違う“セールスポイント”を分かり易く示して、選んでもらうか」が大きな鍵となってくる。

7. おわりに

今回は、得やすい“おもてづら”からの検索による集約とし、6つの大学に設置されている「コミュニケーション学科」カリキュラムの比較は紙面・時間の制約上できなかった。いずれにせよ、置かれている状況に

表3 進学(大学)検索サイトでのキーワード検索結果

※:各サイトで既定のキーワード,():学科と区別がつかない

-:検索機能なし を示す

	検索キーワード	
	コミュニケーション学科	コミュニケーション学
アサヒコム	96	-
Kei-Net	-	-
さんぽう進学ネット	100	-
進学ラボ	2	(2)
進学COM	-	-
進路ナビ	89	95
せんもんネット	7	(7)
大学探しナビ	0	-
大学・大学院展	80	93, 209 ※
ナレッジステーション	63	78 ※
パスナビ	-	-
マイナビ進学	72	232 ※
マナビジョン	-	-
リクナビ	87	343 ※

関しては楽観できない。続編を報告する猶予があるとは思えないが、情報の収集は進め、検討していきたいと考えている。

付記

ここでは、国立・公立・私立の大学を対象としており、株式会社立の大学に関しては一切採り上げなかったことを最後に記す。また、大学一覧情報に関しては、基本的には、ハートシステムおよびWeb版大学・大学院展、各大学のホームページを利用して頂き感謝致します。また、欠落や誤り等が皆無とは言えないかも知れないがお許し願いたい。

註1) 1991年以前の大学設置基準が定めていた29種類の学士
文学士,教育学士,神学士,社会学士,教養学士,学芸学士,社会科学士,法学士,政治学士,経済学士,商学士,経営学士,理学士,医学士,歯学士,薬学士,看護学士,保健衛生学士,鍼灸学士,栄養学士,工学士,芸術工学士,商船学士,農学士,獣医学士,水産学士,家政学士,芸術学士,体育学士

註2) 大学入試センターハートシステム 2009年時点では735校が参加していた。(http://www.heart.dnc.ac.jp/)

引用文献

- 1) 文部科学省 学校基本調査報告書
学校基本調査 年次統計総括表(学校種ごと)大学の学校数,在籍者数,教職員数(昭和23年~)
- 2) 平成 25(2013)年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向
http://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukou25.pdf
- 3) 森 利枝, 細分化する「学問」 学位に付記される専攻分野の名称, アルカディア学報(教育学術新聞掲載コラム), 日本私立大学協会
http://www.shidaikyo.or.jp/riihe/research/arcadia/0283.html
- 4) 専門分野名称の多様化について, 日本学術会議,
http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/daigakusuisin/pdf/s-gakui7-1.pdf

- 5) 浜中義隆, 学位に付記する専攻分野名称の在り方検討部会報告書 第2章構成案,2011
- 6) 日本学術会議,大学教育の分野別質保証の在り方について, 2010
http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/daigaku/kohyo-21-k100-1.pdf
- 7) 新村 出, 広辞苑第6版, 岩波書店, 2008
- 8) 小学館大辞泉編集部, 大辞泉第2版上巻, 小学館, 2012
- 9) 新卒採用(2012年4月入社対象)に関するアンケート調査結果, 日本経済団体連合会, 2012
- 10) ウィキペディア「コミュニケーション能力」
http://ja.wikipedia.org/wiki
- 11) 中川伸子, 職場で求められるコミュニケーション力とその育成について -企業等への調査をもとに-, 神戸女子短期大学, 論攷 57巻 pp.11-18(2012)
- 12) 穂田照子, 『「聞く」「聴く」「訊く」:3つの「きく力」を育む取り組み, 桜美林大学Obirin today教育の現場から9』, pp.97-112, 2009
- 13) コミュニケーション能力認定協会
http://www.ca-japan.org/
- 14) 坂口幸世, 2010 年新增設の学部・学科 曲がり角にきた(?) 新增設と改組の動き, よみうり入試必勝講座 よみトク入試情報2009年9月号
- 15) 清水良郎・宝島 格, 大学広告におけるホームページの重要性和メディア戦略について, 名古屋学院大学論集社会科学篇第46巻第4号, 2010年3月
- 16) 「大学ポートレート」と「大学改革実行プラン」, 日本私立大学連盟
www.shidaiaren.or.jp/data/blog/kyoken_report2012.pdf

参考文献

- 17) 日本マス・コミュニケーション学会
http://www.jmscom.org/
- 18) 日本コミュニケーション学会
http://www.caj1971.com/
- 19) 総務省 統計局 2010年国勢調査
http://www.stat.go.jp/data/index.htm
- 20) 高校生に聞いた大学ブランドランキング2013
http://shingakunet.com/rnet/column/brand_column/08.html
- 21) 正体不明学部・学科その3「コミュニケーション系」学部編
http://daigakujuken.wao.ne.jp/yomutoukaru/sp/gakubuerabi/index3.html

別表1 コミュニケーション学科のある大学一覧 (2003年6月調査)

出典：大学入試センターホームページ <http://www.heart.dnc.ac.jp/> および各大学ホームページによる

大学名	学部名	学科名	定員	コースの構成など	取得資格
1 常磐大学	人間科学部	コミュニケーション学科	100	2004年から コミュニケーション学コース メディア表現学コース	中学校教諭一種(社会) 高等学校教諭一 種(地理歴史,公民) 司書教諭 ウェブデザ イン実務士 プレゼンテーション実務士
2 東京女子大学	現代文化学部	コミュニケーション学科	80	心理, 社会, メディア, 情報, 国際	学芸員 教育職員免許(一種免許 情報) 日本語教員
4 徳島文理大学	文学部	コミュニケーション学科	80	膨大な情報の中から必要なものを探し, さらに 整理, 加工し説得力のある情報を創ることので きる人材を養成することを目的	教員免許高 一種 (情報, 地理歴史) ・中 一種 (社会), 学芸員
5 神戸大学	国際文化学部	コミュニケーション学科	70	地域文化学科との大講座制	不詳
6 山陽学園大学	コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	120	臨床心理系, 英語・英米文化系, 日本語・日本 語文化系, 情報系の4コース	中学校教諭1種免許状(英語), 高等学校教 諭1種免許状(英語), 学芸員資格 日本語 教員養成プログラム(日本語教員資格), 上 級情報処理士(称号), 認定心理士
7 比治山大学	現代文化学部	コミュニケーション学科	90	「マスコミ」, 「国際理解」, 「人間と社会」, 「人間と 情報」を柱	中学校・高等学校教諭一種免許状(英語) 学芸員 上級情報処理士称号 認定証
8 東京経済大学	コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	150	人間とコミュニケーション, 社会とメディアコア, 異文 化コア, 調査コア, 表現コア, 英語コミュニケー ションコア	不詳
9 茨城大学	人文学部	コミュニケーション学科	50	言語情報論講座, 言語コミュニケーション論講 座, コミュニケーション動態論講座, メディア環 境論講座の4講座	中・高等学校教諭一種免許状(外国語<英 >) 学芸員(歴史・考古学関係)
10 中部大学	人文学部	コミュニケーション学科	70	(科目) 社会・コミュニケーション, メディア制作	不詳
11 皇學館大学	文学部	コミュニケーション学科	80	(履修モデル) 異文化間コミュニケーション, 地 域コミュニケーション, ビジネスコミュニケーショ ン	中学校・高等学校教育職員免許状(1種)
12 十文字学園女子大学	社会情報学部	コミュニケーション学科	95	マスメディアコア/現代社会コース	不詳
13 東洋学園大学	人文学部	コミュニケーション学科	100	「ビジネス」「メディア・情報」「人間・文化」の3つ のコア	日本語教員養成課程(副専攻として) 販売 士・旅行業務取扱主任者 認定心理士
14 仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科	95	コミュニケーションデザイン系と英語コミュニ ケーション系	日本語教員
15 帝塚山学院大学	文学部	コミュニケーション学科	150	＜英語コミュニケーション/日本文化コミュニ ケーション/アートコミュニケーション/ビジネ スコミュニケーション＞	中学校・高等学校教諭一種(国語・英語) 学校図書館司書教諭 図書館司書 博物 館学芸員 日本語教員養成

別表2 コミュニケーション学科の盛衰 (開設順)

出典：大学入試センターホームページ <http://www.heart.dnc.ac.jp/> および各大学ホームページによる

大学名	学部名	学科名	学生募集期間 (開設年-最終年)	現在の 定員(※ は募集 停止)	備 考 (コースや専攻、改組後 等)
1 常磐大学	人間科学部	コミュニケーション学科	1984-	80	2004年から定員削減(100→80) 2 コース：コミュニケーション学コース、メディア表現学コース
2 東京女子大学	現代文化学部	コミュニケーション学科	1988-2008	※	2009年リベラル・アーツ教育の充実をめざし、「現代教養学部」1学部4学科12専攻の新体制に
3 愛知淑徳大学	文学部	コミュニケーション学科	1991-1999	※	2000年コミュニケーション学部 に コミュニケーション心理学科、ビジネスコミュニケーション学科、言語コミュニケーション学科設置. 2010年学科改編コミュニケーション学部は消滅
4 徳島文理大学	文学部	コミュニケーション学科	1992-2007	※	改組、廃止
5 神戸大学	国際文化学部	コミュニケーション学科	1993-2004	※	2005年国際文化学部 1 学科(国際文化学科)に 4 講座：情報コミュニケーション論、現代文化論、異文化コミュニケーション、地域文化論 12の教育研究分野の構成
6 山陽学園大学	人間文化学部	コミュニケーション学科	1994-2008	※	2003年国際文化学部をコミュニケーション学部)に名称変更, 2009年総合人間学部(生活心理学科, 言語文化学科)に
7 比治山大学	現代文化学部	コミュニケーション学科	1994-2003	※	2004年改組によりマスコミコミュニケーション学科に
8 東京経済大学	コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	1995-	200	日本初のコミュニケーション学部 4 専攻：メディアコミュニケーション専攻、企業コミュニケーション専攻、現代文化専攻、コミュニケーション表現専攻
9 茨城大学	人文学部	コミュニケーション学科	1996-2005	※	2006年学部改組により人文学科と統合、新たに人文コミュニケーション学科に 6 コース：人間科学、歴史・文化遺産、文芸・思想、言語コミュニケーション、異文化コミュニケーション、メディア文化
10 中部大学	人文学部	コミュニケーション学科	1998-	70	3 コース：ジャーナリズム・コース、社会コミュニケーション・コース、映像コミュニケーション・コース
11 皇學館大学	文学部	コミュニケーション学科	2000-	80	2 コース：人間関係コース、英語コミュニケーションコース 2014年から「認定心理士」を目指す心理学分野を開設
12 十文字学園女子大学	社会情報学部	コミュニケーション学科	2000-2010	※	2011年人間生活学部メディアコミュニケーション学科に
13 東洋学園大学	人文学部	コミュニケーション学科	2000-2003	※	2004年人文学部の既存3学科(英米言語研究, 英米地域研究, コミュニケーション)を再編し, 国際コミュニケーション学科開設
14 仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科	2001-	95	3 系：企画・表現系、英語コミュニケーション系、現代社会系
15 帝塚山学院大学	文学部	コミュニケーション学科	2003-2006	※	2007年文学部の2学科を現代コミュニケーション学科に統合、男女共学→2009年リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科に改組
16 フェリス学院大学	文学部	コミュニケーション学科	2004-	90	多文化理解, 共生コミュニケーション, 表現とメディアの3領域を柱. 5つのコンセプト：調べる, 出会う, コミュニケートする, フィールドへ出る, 表現する

別表3 (その1) コミュニケーションの名称を含む学科一覧 (開設順: 2013年11月現在)

出典: 主に, Web 大学・大学院展 <http://www.daigakuten.com/> および各大学ホームページによる

連番	大 学 名	学 部 名	学 科 名 (※は募集停止)	開設年	備 考
1	成城大学	文芸学部	マスコミュニケーション学科	1976	
2	常磐大学	人間科学部	コミュニケーション学科	1983	最初のコミュニケーション学科
3	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部	マス・コミュニケーション学科	1990	社会学部 (応用社会学科, マス・コミュニケーション学科) 設置. 2006年メディアコミュニケーション学部に
4	東京経済大学	コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	1995	
5	信州大学	人文学部	文化コミュニケーション学科 ※	1995	人文学科が改組され, 人間情報学科及び文化コミュニケーション学科が設置された. 2013年, これまでの人間情報学科, 文化コミュニケーション学科の2学科から改組し, 人文学科7コースに
6	関西外国語大学	国際言語学部	国際言語コミュニケーション学科 ※	1996	2014年募集停止. 英語国際学部英語国際学科に.
7	淑徳大学	国際コミュニケーション学部	文化コミュニケーション学科 ※	1996	2003年国際コミュニケーション学部経営環境学科を改組し, 人間環境学科と経営コミュニケーション学科を開設 (2014年募集停止)
8	阪南大学	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	1997	2004年 文化コミュニケーション学科から改称
9	大阪国際大学	人間科学部	心理コミュニケーション学科	1997	
10	中部大学	人文学部	コミュニケーション学科	1998	
11	愛知大学	国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科 ※	1998	2013年国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科を英語学科に名称変更
12	学習院女子大学	国際文化交流学部	国際コミュニケーション学科	1998	
13	福岡国際大学	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	1998	2010年デジタルメディア学科を国際コミュニケーション学科に統合
14	高知大学	人文学部	国際社会コミュニケーション学科	1998	
15	沖繩大学	人文学部	国際コミュニケーション学科	1999	
16	皇學館大学	文学部	コミュニケーション学科	2000	
17	県立広島大学	保健福祉学部	コミュニケーション障害学科	2000	統合前の広島県立保健福祉大学に設置
18	吉備国際大学	社会学部	ビジネスコミュニケーション学科 ※	2000	社会学部産業社会学科をビジネスコミュニケーション学科に名称変更 2013年社会学部を社会科学部に名称変更. 2014年に外国語学部外国語学科を設置
19	東洋大学	社会学部	メディアコミュニケーション学科	2000	
20	東洋大学	文学部	英語コミュニケーション学科	2000	
21	京都橘大学	人間発達学部	英語コミュニケーション学科	2000	英語英文学科から名称変更
22	仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科	2001	
23	文京学院大学	外国語学部	英語コミュニケーション学科	2001	国際ビジネスコミュニケーション専攻と国際教養コミュニケーション専攻
24	東海大学	文学部	英語文化コミュニケーション学科	2001	英文学科を改組
25	神田外語大学	外国語学部	国際コミュニケーション学科	2001	
26	長崎外国語大学	外国語学部	国際コミュニケーション学科	2001	
27	大妻女子大学	文学部	コミュニケーション文化学科	2002	
28	関東学院大学	人間環境学部	現代コミュニケーション学科	2002	女子短期大学を改組し, 大学に人間環境学部設置

別表3 (その2) コミュニケーションの名称を含む学科一覧 (開設順: 2013年11月現在)

出典: 主に, Web 大学・大学院展 <http://www.daigakuten.com/> および各大学ホームページによる

連番	大 学 名	学 部 名	学 科 名 (※は募集停止)	開設年	備 考
29	苫小牧駒澤大学	国際文化学部	国際コミュニケーション学科 ※	2002	2013年キャリア創造学科開設
30	北星学園大学	文学部	心理・応用コミュニケーション学科	2002	
31	昭和女子大学	人間文化学部	英語コミュニケーション学科	2003	英米文学科を改称
32	相山女子大学	国際コミュニケーション学部	国際言語コミュニケーション学科	2003	文学部を国際コミュニケーション学部(国際言語コミュニケーション学科, 表現文化学科)に
33	常葉大学	外国語学部	グローバルコミュニケーション学科	2004	
34	フェリス学院大学	文学部	コミュニケーション学科	2004	
35	比治山大学	現代文化学部	マスコミュニケーション学科	2004	
36	松蔭大学	コミュニケーション文化学部	異文化コミュニケーション学科	2004	学部名は2012年異文化コミュニケーション学部から名称変更
37	東京国際大学	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	2004	
38	沖縄キリスト教大学院大学	人文学部	英語コミュニケーション学科	2004	
39	敬和学園大学	人文学部	英語文化コミュニケーション学科	2004	英語英米文学科から名称変更
40	東洋学園大学	人文学部	国際コミュニケーション学科 ※	2004	2004年コミュニケーション学科を廃止し設置された。2012年度まで。 2013年人文学部は人間科学部に
41	武蔵野学院大学	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	2004	
42	立命館大学	情報理工学部	情報コミュニケーション学科	2004	2004年情報理工学部が設置され, 情報システム学科, 情報コミュニケーション学科, メディア情報学科, 知能情報学科と, 生命情報学科の5学科体制に
43	熊本大学	文学部	コミュニケーション情報学科	2005	
44	恵泉女子学園大学	人文学部	英語コミュニケーション学科	2005	
45	山梨県立大学	国際政策学部	国際コミュニケーション学科	2005	
46	明星大学	人文学部	国際コミュニケーション学科	2005	
47	明治大学	情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	2005	
48	群馬県立女子大学	国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション課程	2005	
49	跡見学園女子大学	文学部	コミュニケーション文化学科	2006	
50	学習院女子大学	国際文化交流学部	英語コミュニケーション学科	2006	
51	青山学院大学	国際政治経済学部	国際コミュニケーション学科	2006	
52	茨城大学	人文学部	人文コミュニケーション学科	2006	
53	追手門学院大学	国際教養学部	英語コミュニケーション学科	2007	文学部英語文化学科を国際教養学部英語コミュニケーション学科に改組
54	大阪国際大学	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	2007	
55	浜松学院大学	現代コミュニケーション学部	子どもコミュニケーション学科	2007	
56	名古屋学院大学	外国語学部	中国コミュニケーション学科	2007	中国語学科を名称変更
57	立教大学	異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	2008	
58	相模女子大学	学芸学部	英語文化コミュニケーション学科	2008	英米文学科から改称
59	東北工業大学	ライフデザイン学部	経営コミュニケーション学科	2008	

別表3 (その3) コミュニケーションの名称を含む学科一覧 (開設順：2013年11月現在)

出典：主に、Web 大学・大学院展 <http://www.daigakuten.com/> および各大学ホームページによる

連番	大 学 名	学 部 名	学 科 名 (※は募集停止)	開設年	備 考
60	東海大学	国際文化学部	国際コミュニケーション学科	2008	
61	神奈川工科大学	情報学部	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	2008	情報ネットワーク工学科を名称変更
62	清泉学院大学	人間学部	心理コミュニケーション学科	2008	文化心理学科を改称
63	甲南女子大学	文学部	多文化コミュニケーション学科	2008	学科名称を変更、多文化共生学科→多文化コミュニケーション学科
64	大阪産業大学	人間環境学部	文化コミュニケーション学科	2008	人間環境学部文化環境学科を文化コミュニケーション学科に名称変更
65	帝塚山大学	人文学部	英語コミュニケーション学科 ※	2009	日本文化学科・英語文化学科を改組し、人文学部 日本文化学科・英語コミュニケーション学科 設置。募集は2013年まで、2014年文化創造
66	東京家政大学	人文学部	英語コミュニケーション学科	2009	文学部を人文学部に改称、文学部英語英文学科を人文学部英語コミュニケーション学科に改称、
67	金城学院大学	文学部	外国語コミュニケーション学科	2009	文学部の言語文化学科を外国語コミュニケーション学科に名称変更、
68	京都学園大学	人間文化学部	国際ヒューマン・コミュニケーション学科	2009	
69	広島文教女子大学	人間科学部	グローバルコミュニケーション学科	2010	
70	文京学院大学	人間学部	コミュニケーション社会学科	2010	共生社会学科から名称変更
71	名古屋商科大学	コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 ※	2010	名古屋商科大学外国語学部(英語コミュニケーション学科・国際教養学科)を改組し、コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科及び現代教養学科設置。2013年国際コミュニケーション学科→英語学科 現代教養学科→グローバル人材育成学科に改称
72	東洋英和女学院大学	国際社会学部	国際コミュニケーション学科	2010	
73	武蔵野大学	グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	2011	文学部英語・英米文学科をグローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科に改組、
74	同志社大学	グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	2011	
75	広島国際大学	心理科学部	コミュニケーション心理学科	2011	心理科学部コミュニケーション学科を改組
76	十文字学園女子大学	人間生活学部	メディア・コミュニケーション学科	2011	
77	神戸医療福祉大学	社会福祉学部	健康スポーツ・コミュニケーション学科	2011	福祉健康スポーツ学科から改称
78	近畿大学	文芸学部	英語コミュニケーション学科	2012	英語多文化コミュニケーション学科から名称変更、
79	滋賀県立大学	人間文化学部	国際コミュニケーション学科	2012	
80	徳山大学	福祉情報学部	人間コミュニケーション学科	2012	福祉情報学科を改編
81	亜細亜大学	国際関係学部	多文化コミュニケーション学科	2012	
82	福岡学院大学	人文学部	メディア・コミュニケーション学科	2013	人文学部表現学科を改組し言語芸術学科、メディア・コミュニケーション学科を設置、
83	東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	2013	学部再編により2013年グローバル・コミュニケーション学部を開設
84	東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	2013	学部再編により2013年グローバル・コミュニケーション学部を開設
85	松蔭大学	コミュニケーション文化学部	日本文化コミュニケーション学科	2013	学部名は2012年異文化コミュニケーション学部から名称変更
	江戸川大学	メディア・コミュニケーション学部	こどもコミュニケーション学科(予定)	2014	

別表4 (その1) 進学 (大学検索) サイトにおける学部・分野別検索 (2013年11月中旬調べ)

Kei-Net	http://www.keinet.ne.jp/search.html
文・人文	日本文, 外国文, 外国語, 哲・倫理・宗教, 史・地理, 教育, 心理, 地域・国際, 文化・教養
社会・国際	社会・社会福祉, 国際法, 国際経済, 国際関係
法・政治	法・政治
経済・経営・商	経済, 経営, 経営情報, 商・会計・他
教育・教員養成 (国公立大のみ)	学校・教科, 学校・実技, 幼稚園, 養護教諭, 養護学校, その他教員養成
教育・総合科学課程 (国公立大のみ)	スポーツ, 芸術・デザイン, 情報, 国際・言語・文化, 心理・臨床, 地域・社会・生活, 自然・環境
理	数学・数理情報, 物理, 化学, 生物, 地学・他
工	機械, 航空・宇宙, 電気・電子, 通信・情報, 建築, 土木・環境, 応用化学, 材料・物質工, 応用物理, 資源・エネルギー, 生物工, 経営工・管理工, 船舶・海洋, デザイン工・他
農	生物生産・応用生命, 環境科学, 経済システム, 獣医, 酪農・畜産, 水産
医・歯・薬・保健	医, 歯, 薬, 看護, 医療技術, 保健・福祉
生活科学	食物・栄養, 被服, 児童, 住居, 生活科学
芸術・スポーツ科学	美術, 音楽, デザイン・その他芸術, 芸術理論, スポーツ・健康, その他
総合・環境・人間・情報	総合, 環境, 人間, 情報
さんぽう進学ネット	http://www.sanpou-s.net/college/
人文科学系統	日本文, 外国文 (英米文学), 外国文 (中国文学), 外国文 (その他), 文化・人文学, 哲学, 史・考古, 地理, 人間科学, 外国語
社会科学系統	国際関係, 経済, 経営・流通, 商, 法, 政治, 社会
教育・福祉系統	教育 (初等教育), 教育 (中・高教員), 児童・保育・幼児教育, 心理, 福祉
理学系統	数学, 物理, 化学, 地学
工学系統	機械, 電気・電子・通信, 建築・土木, 自動車, 情報メディア
農学系統	農, 環境, 生命・バイオ, 獣医畜産, 水産
家政系統	住居・家政・生活, 食物・栄養・管理栄養, 被服・ファッション
体育系統	体育・スポーツ, 健康
芸術系統	美術・造形, 映像, デザイン, アニメ, 音楽 (クラシック), 音楽 (ポピュラー)
留学系統	海外大学・留学
進学COM	http://www.shingakucom.jp/
文化・地理・歴史	左記の系統別の実存する学部をすべて掲載
法律・政治・経済	
社会・マスコミ	
国際・哲学	
芸術・文学・表現	
家政・生活	
人間・心理・教育・福祉	
スポーツ・健康・医療	
数学・物理・化学	
地球・環境・エネルギー	
工学・建築・技術	
進路ナビ	http://shinronavi.com/
人文科学<文学・語学・哲学・心理学>	文学, 語学, 文化学, 史学, 地理学, 哲学・宗教学, 心理学
社会科学<法・経済・商・社会・福祉学>	法学, 政治学, 経済学, 経営学, 商学, 会計学, 社会学, 観光学, メディア学, 社会福祉学, 秘書学
教養・総合科学	教養学, 国際関係学, 人間科学, 総合科学
理学	数学, 物理学, 化学, 生物学, 地学, 広域理学
工学	機械工学, 自動車工学, 電気・電子工学, 情報工学, 建築学, 土木工学, 原子力工学, 資源工学, 材料工学, 応用物理学, 応用化学, 生物工学・バイオテクノロジー, 航空・宇宙工学, 船舶工学, 海洋工学, 商船学, 経営・管理工学, 画像工学・光工学・医用工学
農学	農学・生物生産・資源学, 農芸化学, 農業工学, 農業経済学, 森林科学, 獣医学, 畜産学, 水産学
医療・保健	医学, 歯学, 薬学, 看護学, 歯科衛生学, 歯科技工学, 臨床検査学, 診療放射線学, 臨床工学, 理学療法学, 作業療法学, 言語聴覚学, 視機能療法学, 義肢装具学, 鍼灸学, 柔道整復学, 救急救命学, 医療経営・医療情報
教育	教育学, 教員養成課程<幼稚園教諭>, 教員養成課程<小学校教諭>, 教員養成課程<中学校教諭>, 教員養成課程<養護・特別支援学校教諭>, 教員養成課程<その他の課程>
体育	体育学・健康科学
芸術	美術, デザイン学, 工芸, 文化財修理, まんが・アニメーション, CG・Webデザイン, 写真, 建築・インテリアデザイン, 音楽, 放送, 音響, 映画・映像, 演劇・舞台, 美容, メイク・エステ・ネイル
家政	家政・生活科学, 食物学, 栄養学, 被服学, 住居学, 児童学・保育学
大学・大学院展	http://www.daigakuten.com/
哲学・文化・歴史学	哲学, 歴史学, 人文地理学, 文化人類学, 文化財科学, 文化学
文学・言語学	日本文学, 外国文学, 児童文学, 文芸学, 日本語学, 外国語学, 言語学
教育学・心理学・社会学	教育学, 保育・児童学, 心理学, 人間科学, 社会学, 福祉学, コミュニケーション学, メディア学, 観光学
法学・政治学・経済学	法学, 政治学, 政策学, 経済学, 経営学
数物系科学・化学	数学, 天文学, 物理学, 地球惑星科学, プラズマ科学, 化学
工学	応用物理学・工学基礎, 機械工学, 電気電子工学, 土木工学, 建築学, 材料工学, プロセス・化学工学, 総合
生物・農・獣医・水産学	生物学, 生産環境農学, 農芸化学, 森林園科学, 水圏応用科学, 社会経済農学, 農業工学, 動物生命科学, 境
医療・健康・スポーツ科学	医学, 歯学, 薬学, 看護学, 保健衛生学, 医療技術学, 健康・スポーツ科学
生活科学	生活科学一般, 食生活学
芸術学	音楽, 美術, デザイン, 工芸, 舞台・演劇・映像, 芸術一般
情報学・環境学	情報学, 環境学
総合・複合領域	神経科学 (総合生物), 人間医工学, 科学教育・教育工学, 科学社会学・科学技術史, 地理学, ナノ・マイクロ科学 (総合理工), 社会・安全システム科学, ゲノム科学 (総合生物), 生体分子科学, 生物資源保全学 (総合生物), 地域研究, ジェンダー, リベラルアーツ, 脳科学

別表

別表4 (その2) 進学 (大学検索) サイトにおける学部・分野別検索 (2013 年11 月中旬調べ)

※ 括弧 () 内の数値は、各サイトの掲載件数を示している。

ナレッジステーション	http://www.gakkou.net/daigaku/
人文科学	外国文学, 言語学, 考古学, 宗教学・特定宗教の教養研究, 心理学, 人文地理, 地域研究, 哲学, 日本文学, 美学, 文化人類学, 文芸学, 歴史学
社会科学	観光学, 教育学, 経営学, 経済学, 国際学, コミュニケーション学, 社会学, 商学, 政治学, 福祉学, 法学, マスコミ学・メディア学
理学	宇宙科学 (天文学), 化学, 自然地理, 情報科学, 自然人類学, 数学, 生命科学, 生物学, 地球科学, 物理学
工学	医用生体工学, 応用物理・基礎工学, 核融合・原子力工学, 機械工学, 経営工学, 建築工学, 材料工学, 資源・エネルギー工学, 情報工学, 通信工学, 生産・システム工学, 船舶・航空宇宙, 電気・電子工学, 都市工学, 土木工学, 画像・音響工学
農学	水産学, 獣医・畜産学, 農学, 農芸化学, 農業経済学, 農業工学, 林学
保健	医学, 看護学, 公衆衛生学, 歯学, 神経科学, スポーツ・健康科学, 薬学, リハビリ・放射線・臨床検査等, 経営・事務系 (医療系)
家政	家政学・生活科学, 食物学, 児童学, 住居学, 被服学
芸術	音楽, デザイン, 美術, 芸術・その他
総合・新領域	環境 (工学系), 環境 (社会系), 環境 (理学系), 国際 (社会系), 国際 (人文系), 国際 (法律・政治・経済系), 情報 (コンピュータ系), 情報 (社会系), 情報 (生命系), 人間 (からだ系), 人間 (社会系),
マイナビ進学	http://shingaku.mynavi.jp/
文学・歴史・地理	外国文学 (188), 日本文学 (178), 文芸学 (65), 哲学 (89), 宗教学 (60), 文化人類学 (134), 教養学 (52), 図書館・情報学 (39), 歴史学 (144), 考古学 (58), 地理学 (63), 比較文化学 (102)
法律・政治・経済	法学 (174), 政治学 (132), 経済学 (294), 経営学 (337), 商学 (190), 総合政策学 (88), 金融学 (96)
社会・マスコミ	社会学 (260), 地域社会 (183), 情報学 (295), コミュニケーション学 (232), ビジネス学 (202), 観光学 (157), 総合科学 (20), マスコミ学 (99), メディア学 (178)
人間・心理・福祉	人間科学 (154), 心理学 (325), 福祉学 (217), 介護福祉 (113), 社会福祉 (210)
語学・国際	語学 (外国語) (314), 語学 (日本語) (168), 言語学 (147), 国際関係学 (227)
数学・物理・化学	数学 (94), 物理学 (90), 化学 (110), 地学 (26)
工学・建築	機械工学 (160), 電気工学 (149), 電子工学 (151), 通信工学 (101), システム・制御工学 (141), 材料工学 (103), 金属工学 (34), 航空・船舶・自動車工学 (64), 情報工学 (168), デザイン工学 (88), 画像・音響工学 (63), 経営工学 (34), 応用理学 (14), 応用化学 (80), 応用物理学 (43), 建築学・意匠 (146), 土木工学 (67), 工芸学 (21), 船員・パイロット養成 (10), インテリア (84)
地球・環境・エネルギー	宇宙・地球学 (54), 環境学 (161), 環境工学 (117), 環境情報学 (39), エネルギー・資源工学 (71), 原子力工学 (12), 鉱山学 (5)
農学・生物	農学 (47), 農業工学 (13), 農業経済学 (22), 農芸化学 (21), 畜産学 (16), 水産学 (19), 生物学 (127), 生物工学 (73), 生物資源学 (41), 生物生産学 (29), 獣医学 (18)
医療・薬学・健康・スポーツ	医学 (97), 歯学 (33), 看護学 (209), 医療技術学 (105), リハビリテーション・作業療法・理学療法 (103), 鍼灸・柔道整復学 (15), 薬学 (70), 健康科学 (174), 生命科学 (108), 保健衛生学 (128), 体育学 (81), スポーツ学 (119), 家政学 (69), 住居学 (113), 美容 (16), 栄養学 (209), 食物学 (191), 調理学 (94), 服飾・被服学 (311), 教員養成 (252), 児童学 (231), 保育・幼児教育 (317)
生活・食物・服飾 教育・保育 芸術	デザイン (164), 美術 (132), 写真 (31), 映像 (98), 音楽 (103), 舞台・演劇・舞踊学 (56)
マナビジョン	http://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/
文系 文学	日本文学, 心理学, 考古学・文化財学, 外国文学, 文化学, 地理学, 哲学・倫理・宗教, 歴史学
文系 語学	外国語学, 日本語学, 言語学
文系 法学	法学, 政治学
文系 経済・経営・商学	社会学, 社会福祉学, 観光学, マスコミ学
文系 国際関係学	国際関係学
理系 看護・保健学	看護学, 医療技術, 保健学, 体育・健康科学
理系 医・歯学	医学, 歯学
理系 理学	数学, 物理学, 化学, 生物学, 地球科学, 情報科学, 総合理学
理系 工学	機械工学, 電気・電子・通信工学, 情報工学, 建築・土木・環境工学, 応用化学, 応用物理学, 資源・エネルギー工学, 金属・材料工学, 商船学, 船舶・海洋工学, 航空・宇宙工学, 経営工学, 生物工学, 工業デザイン
理系 農・水産学	農学, 森林科学, 農芸化学, 農業工学, 獣医学, 農業経済学, 水産学, 畜産学
文理系 教員養成・教育学	教員養成系, 教育学, その他教育学
文理系 生活科学	生活科学, 食物・栄養学, 被服学, 児童学, 住居学
文理系 芸術学	美術・デザイン, 芸術理論, 音楽, その他芸術
文理系 総合科学	人間科学, 総合科学, 総合情報学
リクナビ	http://shingakunet.com/
文化・地理・歴史 (388)	地理学 (83), 歴史学 (153), 考古学 (64), 文化人類学 (143), 日本文化学 (212), 言語学 (208), 教養学 (191)
法律・政治・経済 (437)	法学 (178), 政治・政策学 (153), 総合政策学 (131), 経済学 (335), 経営学 (362), 商学 (261)
社会・マスコミ (550)	社会学 (343), 観光学 (194), 情報学 (384), 図書館情報学 (43), コミュニケーション学 (343), マスコミ学 (165), メディア学 (226)
国際・語学 (362)	国際関係学 (241), 国際文化学 (246), 語学 (外国語) (297), 語学 (日本語) (136)
芸術・文学・表現 (375)	音楽 (109), 美術 (147), デザイン (176), 舞台・演劇学 (79), 日本文学 (148), 外国文学 (155), 児童文学 (81), 文
家政・生活 (329)	栄養・食物学 (255), 服飾・被服学 (131), 住居学 (141), 生活科学 (202)
人間・心理・教育・福祉	哲学・宗教学 (124), 心理学 (401), 人間科学 (290), 教育学 (481), 保育・児童学 (382), 福祉学 (382)
スポーツ・健康・医療 (509)	スポーツ学 (195), 健康科学 (282), 医学 (121), 歯学 (35), 看護学 (214), 保健・衛生学 (214), リハビリテーション学 (120), 医療技術学 (122)
数学・物理・化学 (149)	数学 (99), 物理学 (108), 化学 (122)
生物 (206)	生物学 (161), 生命科学 (140), 農学 (80), 森林科学・水産学 (45), 獣医・畜産学 (26)
地球・環境・エネルギー	地球・宇宙科学 (65), 環境科学 (143), エネルギー・資源工学 (80), 原子力工学 (8)
工学・建築・技術 (281)	機械工学 (151), 航空・船舶・自動車工学 (83), システム・制御工学 (139), 情報工学 (193), 通信工学 (100), 電気工学 (136), 電子工学 (143), 画像・音響工学 (89), 建築学 (131), 土木工学 (69), 環境工学 (121), 応用物理学 (39), 応用化学 (72), 材料工学 (92), 経営工学 (37)

別表4 (その3) 進学 (大学検索) サイトにおける学部・分野別検索

(2013年11月中旬調べ)

キャンパス アサヒコム	進学ラボ	せんもんネット 学部ジャンルディレ クトリ	大学探しナビ (学問系統)	パスナビ (分野で探す)
文学・歴史	法・政治系	社会・福祉	法・政治	文
外国語学	経済・商・経営学系	文化・芸術	商・経済・経営	教養
教員養成・教育学	社会・環境・情報系	国際・語学	文・人文	外国語
法・政治学	心理・哲学・宗教系	生活・家政	社会・福祉	法
経済・経営・商学	福祉系	体育・医療	国際	経・商学部
社会・福祉・心理学	人間科学系	人間・教育	情報	工学部
人文・教養・総合科学	史学・地理学系	地球・環境	家政・栄養	農学
国際関係・文化学	文化・人文系	生物・農学	理工	看護・医療
家政・生活科学	文学系	理学・数学	医	家政・生活科学
体育・健康科学	語学系	機械・工学	歯	教育・教育相談
芸術学(音楽)	国際関係学系	建築・土木	薬	芸術
芸術学(美術)	教育・保育系	電気・電子	産	社会・福祉学
芸術学(その他)	芸術・音楽・美容系	情報・通信	体育	国際関係学
理学	理学・物理学系	経済・商学	看護	理学
工学(電子・電気)	工学系		医療・衛生	医学
工学(情報)	生物・生命科学・バイオ系		音楽	歯学
工学(機械)	農・林・水産系		芸術	薬学
工学(資源・エネルギー)	獣医・畜産学系		教育	体育・健康科学
工学(環境・建築・土木)	医・歯学系		その他	
工学(その他)	薬学系			
看護・医療・保健学	看護・医療・保健系			
農・畜産獣医・水産学	体育・健康科学系			
医・歯・薬学	食物・栄養学系			
	生活科学・家政学・服飾系			
	留学系			
	その他			

キャンパス アサヒ・コム
進学ラボ
せんもんネット
大学探しナビ
パスナビ

<http://www.asahi.com/ad/clients/campusasahicom/>
<http://as-lab.jp/>
<http://www.1000mon.net/>
<http://www.univpress.co.jp/university/>
<http://passnavi.evidus.com/>

別表5 コミュニケーション学科を持つ6つの大学の地域環境、規模、通学の便など

※人口は2010年国勢調査による(外国人を含む 単位:人)。各大学のデータについては、大学ホームページの公開情報(2013年5月1日)による

大 学 名	所在地	人 口		15～17歳人口		大 学 の 規 模 や 定 員 等					
		所在地のみ	隣接市(区)町を含む	所在地のみ	隣接市(区)町を含む	学部数	学科数	学部学生数	学部収容定員	大学定員充足率	コミュニケーション学科 学年定員
常盤大学	水戸市	268,750	633,791	7,850	19,247	3	11	2,397	2,892	0.829	80
東京経済大学	国分寺市	120,650	937,221	3,200	24,573	4	6	6,420	5,750	1.117	200
中部大学	春日井市	305,569	1,046,261	8,552	29,778	7	29	10,276	9,010	1.141	70
皇學館大学	伊勢市	130,271	268,013	4,020	8,279	3	6	2,887	2,480	1.164	80
仁愛大学	越前市	85,614	190,821	2,819	6,207	2	4	1,245	1,300	0.958	95
フェリス学院大学	横浜市泉区	155,698	1,445,864	4,603	39,686	3	6	2,614	2,260	1.157	90

大 学 名	所在地	最寄の鉄道駅	最寄駅からの所要時間 (HP掲載ほか)	バス料金(円)	午前8時台の便数	最寄駅から 徒歩の場合
常盤大学	水戸市	(JR) 偕楽園駅	赤塚駅南口から茨城交通バス8分	160	7(大学前経由の便数),他に水戸駅発など多数	25分 (2km)
東京経済大学	国分寺市	(JR・西武) 国分寺駅	徒歩12分	-	-	12分
中部大学	春日井市	(JR) 神領駅	スクールバス7分	16,000(半年)	3～5分間隔	25分 (1.9km)
皇學館大学	伊勢市	(近鉄) 宇治山田駅	伊勢市駅または宇治山田駅から三重交通バス10分,または徒歩15分	200	4	15分
仁愛大学	越前市	(JR) 武生駅	シャトルバス15分	無料	3(路線バスを含む)	60分 (5.1km)
フェリス学院大学	横浜市泉区	(相鉄) 緑園都市駅	徒歩3分	-	-	3分